

災害ケースマネジメントの推進に向けた 福島県の取組について

福島県危機管理部災害対策課

目次

- 1 災害ケースマネジメントの概要
- 2 これまでの本県の取組
- 3 災害ケースマネジメントの手法を活用した被災者支援の実施体制イメージ
- 4 令和8年度のスケジュール(案)

1 災害ケースマネジメントの概要

○災害ケースマネジメントとは

(参照:内閣府「災害ケースマネジメント実施の手引き」)

(定義) **被災者一人ひとり**の被災状況や生活状況の課題等を**個別の相談等**により把握した上で、必要に応じ**専門的な能力をもつ関係者と連携しながら**、当該課題等の解消に向けて継続的に支援することにより、**被災者の自立・生活再建**が進むようマネジメントする取組

※ 国防災基本計画でも規定

<もう少し分かりやすく> (出典:津久井 進「災害ケースマネジメント◎ガイドブック」)

被災者一人ひとりに必要な支援を行うため、**被災者に寄り添い**、その**個別の**被災状況や生活状況などを**把握**し、それに合わせて様々な支援策を組み合わせた計画を立てて、**連携して、生活再建を支援**するしくみ

【災害ケースマネジメント実施の流れ】

アウトリーチと アセスメント

⇒訪問等により支援にアクセスできない被災者の状況を**把握**し、「住まい再建の実現性」と「日常生活の自立性」の観点から**支援の必要性や優先度を決定**。

ケース会議

⇒被災者の自立・生活再建に必要な支援策や方向性について、行政と関係機関が**連携**して協議し、**個別の支援プラン**を検討する。

支援の実施と つなぎ

⇒検討した個別の支援プランに基づき、各被災者の支援を実施するとともに、必要に応じて適切な**支援先へのつなぎ**を行う。

情報連携会議で 取組状況を共有

⇒被災者支援の全体状況について、関係機関で情報共有を行う。
必要に応じ、県域でも実施。（個別のケースは扱わない。）

【災害ケースマネジメントの効果】

①災害関連死の防止

⇒避難所や在宅の被災者の体調等を早期に把握

②避難所外避難者への対応

⇒**避難所にいる人だけが被災者ではない**。

③支援漏れの防止

⇒**申請のない人こそ、支援の必要がある可能性**

④自立・再建の早期実現 &地域社会の活力維持

⇒住民が早期に生活再建し、自立した日常生活をおくることで、結果的に**地域社会の活性化**へ。

2 これまでの本県の取組

令和5年度までに先進地視察、県と市町、社会福祉協議会、専門家団体による推進検討会等を行い、課題を発見。

令和6年度、引き続き推進検討会を実施し、令和7年3月に「福島県災害ケースマネジメント推進ネットワーク会議」を設立、「福島県災害ケースマネジメントの手引き」を作成したほか、研修・演習による官民の人材育成を実施。

《令和7年度の取組概要》

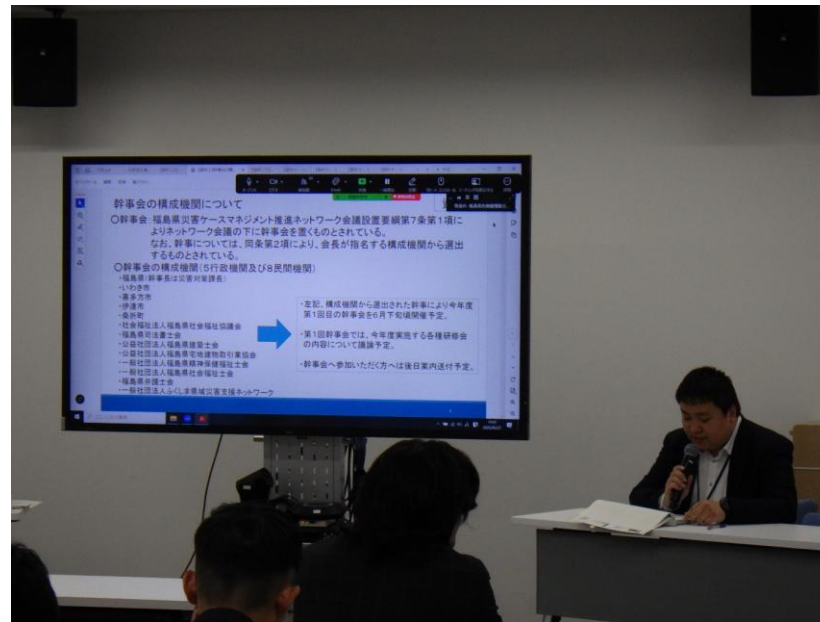
- ① **「福島県災害ケースマネジメント推進ネットワーク会議」の開催**
→ 県・市町村・社協・専門家団体・NPOによる情報共有体制の設立
- ② **研修会の開催**
→ 行政職員、社会福祉協議会、専門士業団体等を対象に、専門家の講演等による基礎研修会を1回、アウトリーチのロールプレイング等による 実践型研修会を2回開催
- ③ **市町村域における実施体制構築のための伴走型支援**
→ ケースマネジメントの実施体制構築を目指す市町村に対し、アドバイザー派遣や県担当職員による伴走型支援を実施

○ 第1回福島県災害ケースマネジメント推進ネットワーク会議

日時: 令和7年5月27日(火) 13:30~15:45

内容: ネットワーク会議構成機関から約140名が参加しました。

本県のこれまでの取組の振り返りと今年度の進め方について確認を実施。
大阪公立大学の菅野拓准教授を講師に招き「災害ケースマネジメントーなぜ必要か、どう実施するかー」について理解を深めました。



○ 第1回幹事会の開催

日時: 令和7年6月27日(金) 14:00~15:00

内容: ネットワーク会議のあり方と進め方、基礎研修及び実践型研修の実施内容について協議しました。

※幹事会構成機関(令和8年3月1日現在)

県(事務局)

市町村: いわき市、喜多方市、伊達市、桑折町

民間団体: 福島県弁護士会、福島県司法書士会、公益社団法人福島県建築士会、公益社団法人福島県宅地建物取引業協会、一般社団法人福島県精神保健福祉士会、一般社団法人福島県社会福祉士会、一般社団法人ふくしま県域災害支援ネットワーク



○ 基礎研修会の開催

日時: 令和7年10月7日(火) 10:30~16:00

内容: 市町村、市町村社会福祉協議会及び民間の専門士業等団体を中心に約90名が参加しました。

元日弁連災害復興支援委員会委員長の津久井進氏、日本医療ソーシャルワーカー協会福井康江氏及び一般社団法人BIG UP石巻代表理事の阿部由紀氏を講師に迎え、災害ケースマネジメントと連携のポイントに関する講演や被災当事者の状況を理解するグループワーク、過去の災害における災害ケースマネジメント実施事例紹介を通じ、理解を深めました。



○ 実践型研修会の開催

郡山会場:令和7年12月 9日(火)10:30~16:00

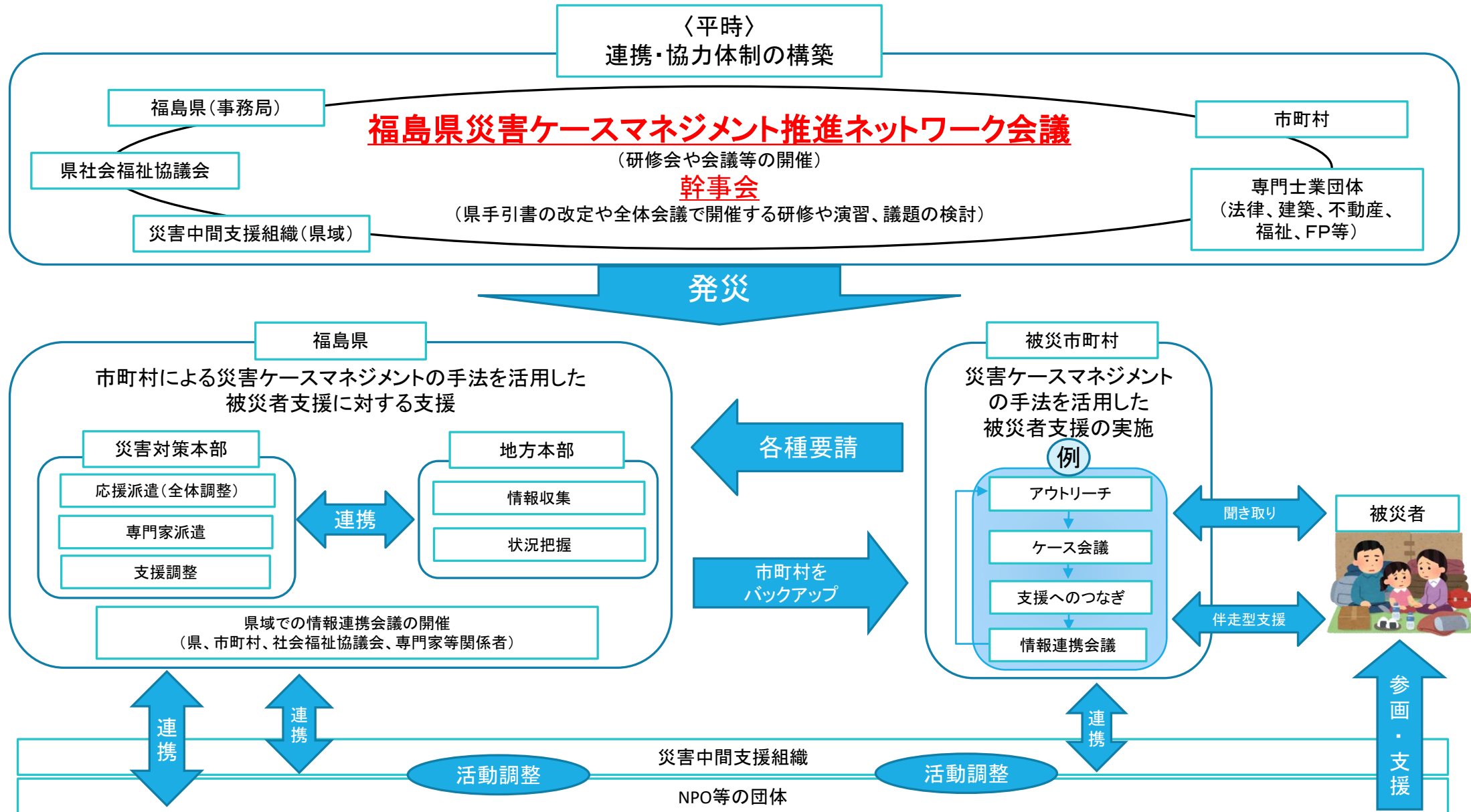
富岡会場:令和7年12月10日(水)10:30~16:00

内容:県、市町村、市町村社会福祉協議会及び民間の専門士業等団体を中心に約60名が参加しました。

社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会 鳥取県災害福祉支援センター 白鳥 孝太 災害支援専門官を講師に迎え、アウトリーチのロールプレイングや模擬ケース会議のワークショップを実施し、理解を深めました。



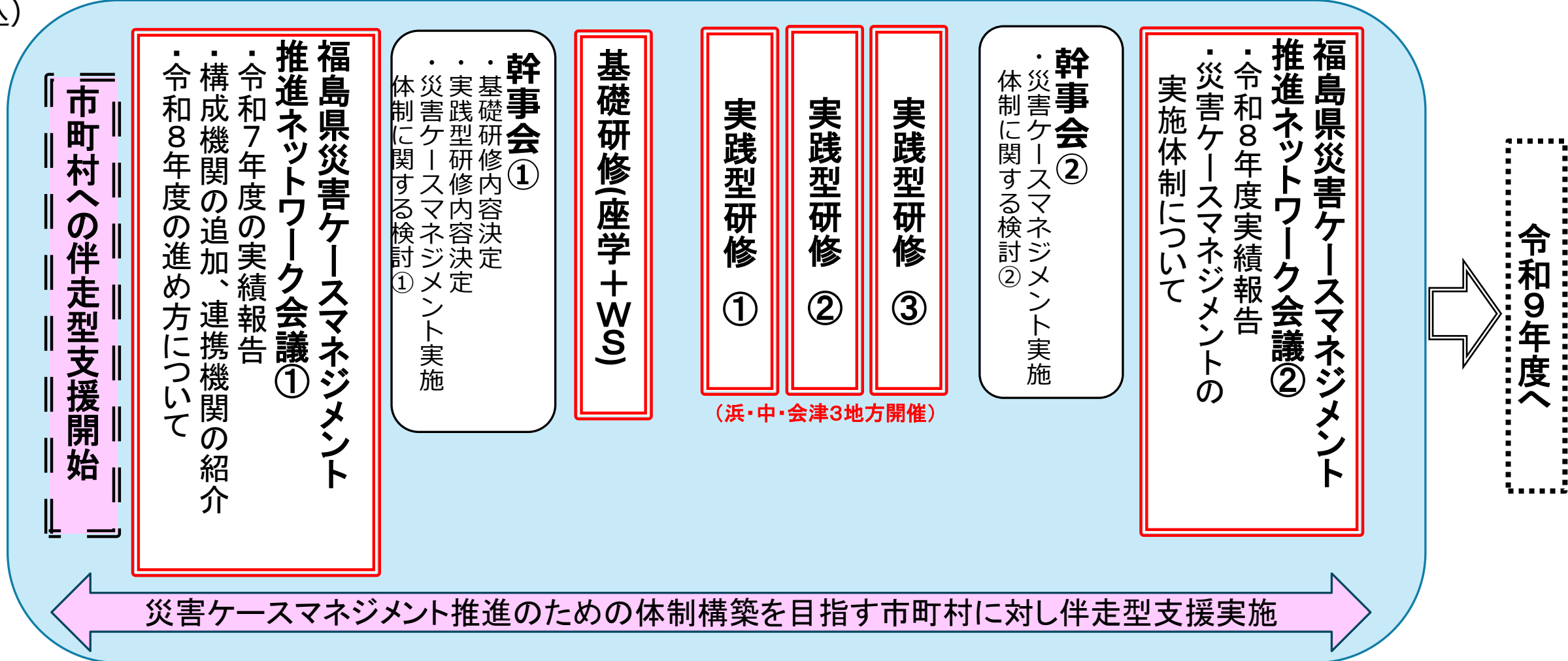
3 災害ケースマネジメントの手法を活用した被災者支援の実施体制イメージ



4 令和8年度災害ケースマネジメント推進ネットワーク会議スケジュール（案）

時期
(見込)

4月 5月～6月 7～8月 9月 10月～12月 1月～2月 3月



各種研修については、ネットワーク会議構成機関の外、市町村社会福祉協議会職員、DWAT隊員、行政評価委員、被災者支援に関わる地域団体及び災害ケースマネジメント実施時につなぎ先となることが想定される機関を対象に開催